

～家～
【発達領域】言葉の発達



おままごとやごっこ遊びをしている子どもたちの姿に注目して、どんな言葉が飛び交っているのか、保育者との会話や子ども同士の会話を聞いてみました。テーブルを囲んで食事をしたり、飲み物を飲んだりしていた子どもたち。園やおうちでもよく耳にする「いただきます」「ごちそうさま」という言葉がたくさん聞かれました。そして挨拶をする時は手を合わせる仕草も見られ、大人がしている姿をよく見ていますと感じました。また食事をするだけでなく、キッチンに立ち、フライパンを振って「じゅうじゅう」と言ったり、保育者が水道に食器を置いて洗い物をしたりする姿を見せると、子どもたちは「やってみたい！」と興味を示して真似をするのでした。ごっこ遊びでは赤ちゃん人形やクマの人形を使って「あ〜ん」と言いながら卵焼きやクッキーを食べさせたり、抱っこをする時には掛け布団をかけて背中を優しく撫でながら「ねんね〜」と寝せています。遊びの中でいろいろな言葉のやり取りが出てきて、生活体験とも結びついているのだと感じました。

おままごとやごっこ遊びをする時、子どもからどんな言葉を引き出せるのかを考えながら意識してたくさん声掛けをしました。料理をする時の「じゅうじゅう」洗い物をする時の「あわあわ」「こしこし」などの擬音語「バナナ」「リンゴ」「ラーメン」など食材の名前を認識し始め、語彙も増えてきました。

お家でも生活の中での言葉のやり取りを大切にしてみてくださいね。



虫のおうち

園庭に出るとアリやダンゴムシ探しに夢中な子どもたちです！築山やトンネルの入口にたくさんのアリがいることを知っていて、「アリ！」「ムシ！」と教えてくれます。「アリさんのおうちはどこだろうね〜」と声を掛けると「アリさん、おうち？」と繰り返す言葉にし、一緒に虫たちの巣を探して見つけると、顔を近づけてじっと見たり自分の手の平にのせたりして実際に触れることも楽しんでいました。





ピクニックランチ

食育の日、ピクニックランチということで昆布とツナマヨの2種類のおにぎりや、からあげなど特別なメニューがワンプレートになって出てきました。子どもたちは「これは？」とたこさんウインナーが気になるようで口いっぱい頬張りながらお友だちと一緒に楽しんで食事をしていました♪



【スナップビーズ】

片面に穴があいているので自由に繋ぎ合わせることができます。また、中は空洞で軽いですが、繋げる時に力が必要です。始めは苦戦していた子どもたちですが、保育者と一緒に繋げることで力加減を知り、一人でもできるようになりました。程よい硬さなので、力の入れ具合により、手先の器用さや手首の運動にも繋がっています。繋げたあとにくねくねさせてへビのように見立てたり、上手く繋がると輪っかにすることができ、首にかけたり、頭にのせたりして遊んでいます。繋げたり抜いたりする感覚にも夢中になり、繰り返しています。

Peterkin(ピーターキン社)



6月生まれのおともだち

